



岡崎市立愛宕小学校 校長通信 令和6年2月9日（金）



大好きいっぱい チーム愛宕



令和5年度もあと約1か月となりました。本当に1年が経つのが早く感じられます。今、全校が卒業に向けて動き出しています。6年生は授業も大詰めです。1時間1時間を大切に、集中して授業に取り組んでいます。5年生は「卒業を祝う会」の企画をし、準備を進めています。6年生が巣立った後は、5年生が学校を牽引します。その力をつけているところです。各学年では、次の学年へのステップがスムーズにできるよう、学びを進めています。どの学年も、成長ぶりが楽しみです。



2月8日（木）、葵中学校の入学説明会がありました。6年生はワクワク・ドキドキです。井田小の6年生は5クラスです。多くの人と関わる機会があります。ぜひたくさんの方の友達をつくってほしいと思います。最初に葵中の柴田校長先生からお話がありました。特に「地域ブロック部活動」への移行について詳しく説明されました。令和11年の完全移行に向けて少しずつ変わっていきます。続いて葵中の様子を映像で見ました。様々な行事があり楽しみになります。次にステージ上に中1の先輩3人が登場、中央は愛宕小出身の男子。堂々とした語りに成長を感じました。



1月24日（水）、雪の日に行われた「パントマイム公演」では、子供たちの笑顔が多く見られました。たくさんの方の歓声も沸き起こりました。パントマイムの面白さに私自身も魅了されました。マジックの場面では、私も大笑いをしました。ミニ講座でパントマイムのコツを教えてください、早速練習していた児童もいました。この日は朝から雪合戦や雪だるま作り、その後はパントマイム公演で、午前中は全校児童の笑顔満開で、あったかい空気に包まれていました。プロの演者から学ぶ体験は、本当に貴重で価値のあることです。こうした鑑賞や学習の場を今後も積極的に設けていきたいと思っています。保護者の皆様の中で、知り合いで芸に秀でた方やその道のプロフェッショナルな方がいましたら、ぜひ教えてください。



今、当たり前前の方が当たり前前になるようになってきました。コロナ禍では通常通りではなかったことを思いますと、当たり前前になることに感謝しなければいけないと思います。例えば、授業ができる、友達と遊ぶ、ペットと遊ぶ、ピアノ、習字、サッカー…。水が出る、ご飯がある、電気がつく…能登地方においては、被災されている方々のことを思うとなおさらです。当たり前前が当たり前前にならない状況もあります。私自身、今を大切に、いろいろなことに感謝の心をもって生きていきたいと思っています。今こうしているのも多くの人たちのおかげです。

